

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2008年9月20日発行 第65号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P5
事務室からのお知らせ	P6 ~ P8
保健室・カウンセリングスペースからのお知らせ	P9 ~ P12
生徒支援からのお知らせ	P13
進路支援からのお知らせ	P14
アシストプログラムのお知らせ	P15
今月の聖句	P16

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>



-Let's Try!! あなたのマラソンのゴールテープを目指して-

4年に1度のオリンピックがこの夏北京で開催されましたが、生徒のみなさんはどの種目に注目していましたか?やはり、水泳・柔道・レスリングなどメダルを取った種目に注目が集まったのではないのでしょうか?そして、自分が過去に経験した種目もその1つではないのでしょうか。

そして、今は同じ北京でパラリンピックが行われています。このパラリンピックは「もう一つの(Parallel)+オリンピック(Olympic)」と言う意味だそうです。1960年のローマ大会からオリンピック開催後に実施されるようになりました。障がいを持ちながらそれを克服し競技に取り組む姿に勇気づけられる気持ちです。

さて、前期単位認定テストが終了し、生徒のみなさんも少し緊張がほぐれているのではないのでしょうか。そして、この秋今年度前期卒業として32名の生徒さんが本校を巣立っていきました。

テスト結果を含む前期に登録された講座の成績報告は、9月22日(月)のホームルームでお渡します。また、後期に向けての準備として時間割や開講講座概要も渡します。「教務からのお知らせ」をしっかりと読んで講座登録にのぞみましょう。そして、前期の結果を踏まえ、後期を新しい気持ちで迎えましょう。

ちなみに次回のオリンピックは2012年にロンドンで行われます。みなさんは、次回のオリンピックを誰とどこで見ているのでしょうか。

本校の卒業要件

高校に3年以上在学すること。

74単位以上修得すること。

必要な教科・科目(必須科目)を履修すること。

「総合的な学習の時間」を3単位以上修得すること。

特別活動に30時間以上参加すること。

(「2008年度学務の手引き」より抜粋)

2008年度 大阪YMCA 年間聖句

「めいめい自分のことだけでなく、
他人のことにも注意を払いなさい。」

フリビの信徒への手紙 2章4節



2008年4月 - 2009年3月

スケジュール

予定日程表

日	曜	行事予定など
9 月		
9/25	木	後期講座登録開始（年次別に10/2まで実施。ただし、日時は担任との予約が必要）
26	金	
29	月	
30	火	
10 月		
10/1	水	
2	木	後期講座登録終了
3	金	大学入試センター試験出願締切
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	進研記述模試
10	金	
11	土	Y M C A 記念日（学校休業日）
12	日	大阪府高等学校定時制通信生徒秋季発表大会
13	月	（体育の日）
14	火	
15	水	後期登録講座分、個人時間割・レポート集など発送予定
16	木	
17	金	進学ガイダンス
18	土	講演会「教育を共に考える集い」
19	日	
20	月	後期スクーリング開始
21	火	〔学校通信〕発送予定
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	
11 月		
11/1	土	クリーン大阪 2008
11/3	月	大阪南 Y M C A 主催ファミリーカーニバル

教務からのお知らせ

【後期講座の登録】下記の日程で実施。日時は事前に担任と予約してください。

3年次 9月25日(木) 26日(金) 29日(月) 午前中
2年次 9月29日(月) 午後、30日(火)
1年次 10月1日(水) 午後、2日(木)

* 必ず事前に担任と日時の予約をしてください。予約をせずに来校した場合は、登録することができず、あらためて来校しなければなりませんのでご注意ください。

後期の講座登録は上記期間のうち1日、一人10~20分程度で行います。ただし、登録日は年次によって異なり、9月22日(月)のホームルームで、担任と個別面談の日時予約をします(ホームルームを欠席した場合は、必ず担任と連絡をとってください)。

予約の日時には確実に登校し、〔2008年度後期開講講座の概要〕と〔2008年度後期の時間割〕(いずれもホームルームで配付、欠席者には送付)を見て、あらかじめ選んでおいた学習しようと思う講座について、担任と相談しながら決めて登録します。

【レポート集・時間割・教科書の発送】

先になされた講座登録にもとづき、皆さんの届け出住所あてに、個人別時間割・レポート集・バーコードシール・返信用封筒をセットにしたものと教科書が送られます。個人別時間割以下のセットは10月15日(水)に本校から発送する予定です。このセットが届いたら、すべてそろっているか、とくに自分の登録した講座のレポートに間違いがないか、レポート袋の中に全回分入っているか確かめてください。

他方、教科書は教文堂^{きょうぶんどう}という書店から送られます*。入荷の都合や特定の順に発送作業をするなどのため、配達の正確な時期は予告できません。おそくとも10月20日(月)のスクーリング開始までには配達される見込みです。届いた教科書もすべて間違いがないか調べてください。

これらに間違いや不足のものがあった場合、学校に連絡してください。スクーリング開始後、学校で交換や不足物のお渡しをします。誤送・不足物の申し出期限は、11月7日(金)までで、それを過ぎると再発行または再購入として有料になる場合があります。

* 本校では教科書の受け渡し(販売)のために、教科書販売会社「教文堂」に発送を委託しています。「教文堂」とは個人情報の管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行っています。

【後期のスクーリング開始】

スクーリングは10月20日(月)より始まります。もちろん、個人別時間割にもとづき、同日に受講講座のスクーリングのない人は登校する必要がなく、各自の受講講座が始まる最初の曜日・時限から出席してください。

初回のスクーリングが最初の週からでない講座、また「産業社会と人間」などスクーリング日が不規則な講座もありますから、各自の「個人別時間割」や各講座の「学習計画表」(ほとんどの講座はレポート袋の表紙に印刷してあります)で確かめて、登校・出席してください。

【スクーリング時の持ち物】

スクーリングに必要な持ち物は、各講座の学習計画表や案内紙などで確かめてください。美術・書道・ペン習字・暮らしに役立つ書などは用具が初回から必要ですから、1階の売店で購入するなどして準備してください。忘れると、スクーリング出席が認められません。詳しいことはレポート袋に説明書きが入っています。

また、体育の初回は教室での授業ですから、運動の仕度は要りません。
レポート類や教科書が何らかの事情でスクーリングまでに配達されなかったとしても、登録した講座には出席してください。

【レポート提出】

各レポート用紙には、バーコード・シール貼付（回数番号に注意）や住所・名前の記入を正確に行い、提出期限を守ってください。多くの講座で、レポートの提出期限は、関連内容のスクーリング日のほぼ1週間後としています（講座により短い場合もあります）。各回の期限に遅れると評価が下がります。出し遅れや再提出の場合でも、最終締め切り日まであきらめずに出しましょう。

【忘れ物について】

前期末に職員室に届けられ、保管されている忘れ物について後期の講座登録期間(9月25日(木)～10月2日(木))中に講座登録の会場に展示しますので、心当たりの方は確認ください。自分のものがあればもって帰ってください。

なお、保管されている忘れ物は10月末をもって処分いたしますのでよろしく願いいたします。

【制作品の持ち帰りのお願ひ】

芸術科や家庭科などで制作した作品で、これまで学校で保管されていたものは、ホームルームや後期の講座登録などで登校の機会に、家に持ち帰ってください。10月末までに引き取りのない場合は、個々人に通告することなく処分します。

街美化ボランティア

11月1日(土) 10:30～12:00(雨天決行)

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

(特別活動2時間。ただし、遅れたり途中で帰ったときは認定されません。)

事務室からのお知らせ

【通学割引証の発行について】

本校への通学の際には、交通機関の通学用割引回数券が利用できます。回数券の残数が少なくなったら、「通学割引証申請カード(ケース入り)」を事務室窓口のカード回収ボックスへ提出して「通学割引証」の発行申請をしてください。「通学割引証申請カード(ケース入り)」は毎回申請時に提出が必要ですので大切に保管してください。なお、「通学割引証」の有効期限は一ヶ月です。期限内に駅の発売所で回数券を購入してください。その際必ず「通学割引証」をケースから出し、生徒証明書を提示してください。詳細は、「学務の手引き」30,31頁をよく確認してください。

(注意事項) 通学用割引回数券は通学以外の目的による使用や本人以外の使用は認められていません。割引証の申請は年間20回までです。

割引証の有効期限が切れてしまった場合は事務室で期日を訂正します。お申し出ください。

【通学交通費の割引についてのお知らせ】

講座登録や学習支援プログラム申し込みにより、週5日登校することになった生徒に限り、JRおよび大阪市交通局(地下鉄・バス)の通学定期券を購入できる場合があります(私鉄の各交通機関については通学定期券の利用はできません)。該当する生徒で、通学定期券購入を希望する場合は所定の申込用紙をお渡ししますので、事務室まで申し出てください。

【奨学生募集について】

現在募集中の奨学金について期限等を下記の表に記載しています。申込希望の場合は申請書類一式を事務室に請求してください。

種 類	申込書類提出期限
大阪府育英会「特別奨励金」 里親に養育されている又は児童養護施設へ入所していて、大学等へ進学を希望している3年次生のみ	10月31日(金)
日本学生支援機構「大学等奨学生予約」 第二種(海外) 平成21年度内に海外の大学へ進学を希望している3年次生のみ	10月17日(金)

【後期Y M C A学院高等学校奨学金の募集について】

Y M C A学院高等学校奨学金は、Y M C A学院高等学校に在学する生徒で経済的な理由により修学が困難な人で、本校における学業継続の意志が固い人を対象に、各学期における授業料相当額の5%から50%を給付するものです。本奨学金は給付ですので返還の必要はありません。ただし、奨学金の支給総額が決まっていますので、申請されても奨学金の給付ができない場合があることをご了承ください。申込みを希望する場合は、右記の詳細を確認のうえ事務室へお申し出ください。

Y M C A 学院高等学校奨学金（給付）

（内 容）本校の在學生で、本校での学習継続の意志が固く経済的理由により修学が困難な人
今回の募集は 2008 年度後期分です。

（給付金額）授業料相当額の 5 % ~ 5 0 % を給付します。

（対象者）* 経済的な理由により本校での修学が困難な人で、本校での学業継続の意志が固い人

*すでに本校に在学している人については 2008 年度前期の本校での修得単位が **10 単位以上ある人**（2008 年度後期入学生は全員が対象となります。）

（申込時必要書類）

（ 1 ）奨学金給付申請書

（ 2 ）前年度の課税総所得を証明できる書類

* 市民税等の証明書については、**平成 20 年度分**が必要です。

* 生活保護受給世帯、その他特別な事情のある世帯については別途必要書類があります。
詳細は案内にて確認ください。

（募集案内配布開始日） 9 月 25 日（木）から事務室にて

（申請書学校提出期限） **12 月 5 日（金）17 : 00 必着**

生活保護世帯に属する生徒には、就学に係る費用が高校就学費として保護費から支給されますので、授業料額から高校就学費を引いた金額が学校奨学金給付の対象金額となります。

当奨学金の採用状況については、予算の範囲内で、課税状況および家庭状況などから、困窮度の高い世帯に属する生徒から順に決定がなされます。したがって近年の社会的経済状況から申請者が増加しており、所得金額の極めて少ない（概ね非課税）世帯に属する生徒が採用されているのが現状です。

【後期教科書・学習書代の給付について】

通信制高校在學生に対しては、文部科学省の「高等学校定時制及び通信教育振興奨励費補助金」制度があり、教科書・学習書に対して補助金が給付されます。補助の対象となる教科書・学習書は、文部科学省の検定教科書と、検定教科書を使用する科目の学習書です。申込みを希望する場合は下記にて詳細を確認のうえ事務室へお申し出ください。概要は以下のとおりです。

高等学校通信教育振興奨励費補助金制度（教科書・学習書代）

（対象）定職に就いている人（就労証明書等証明書の添付が必要です）

パート・アルバイトで年間 90 日以上勤務する人

職につく意志はあるが求職活動中の人

（給付金額）文部科学省の検定教科書及び検定教科書を使用する科目の学習書代の全額

（募集案内配布開始日） 9 月 25 日（木）から事務室にて

（申請書学校提出期限） **11 月 5 日（水）17 : 00 必着**

【受験に必要な証明書発行手続きについて】

受験に必要な証明書を必要とする場合は、「証明書発行願(受験用)」に記入して原則として下記の(窓口申込)により申し込んでください。特別な事情がある場合には下記(郵送申込)も受け付けますが、必ず電話で担任と確認のうえ行ってください。電話・FAXやメールでは申し込みできません。なお、証明書発行までに1週間を要するものもあります。下記の表を確認のうえ日数の余裕を持って手続きしてください。

窓口申込 受験予定校の願書・募集要項を持参してHR担任と相談、「証明書発行願(受験用)」を記入のうえ担任確認印をもらってから事務室窓口へ手数料を添えて申し込んでください。(生徒証明書の提示が必要)

郵送申込 「学務の手引き」巻末の「証明書発行願(受験用)」をコピーして記入・押印し、手数料と返信郵送料の合計料金分の郵便切手を同封して郵送してください。(郵便が事務室に届いた日が受付日となります。発行に日時を要しますので、余裕をもって申し込んでください。)

必ず事前に電話で担任と確認のうえ行ってください。

手 数 料
発 行 日

種 類	申込用紙	通常		英文発行	
		手数料	発行日	手数料	発行日
成績・単位修得(見込) 証明書	証明書発行願 (受験用)	300 円	受付から 3日後	300 円	受付から 1週間後
調査書			受付から		
推薦書		500 円	1週間後	1,000 円	

返信郵送料

証明書の枚数	郵送料(普通)	速達料金
1~2通まで	80 円	+ 270 円
3~5通まで	90 円	
6~10通まで	140 円	

保健室・カウンセリングスペースからの お知らせ



* 健康診断書について

05 年度以降の入学生で入学時に健康診断書の用紙をお渡しした人（A4・白：新入生、編入生のみ）、現在までに未提出・未受検の連絡をした人（転入生を含む）は、出来るだけ早く医療機関で健康診断を受けて提出してください。健康診断の記録が無い場合は、学校側として健康状態の把握ができない為、在学中の宿泊をともなうスクーリングへの参加はできません。

* 保健室で使用する薬について

保健室では外科的なけがの処置として消毒液、シップ薬、点眼薬などを使用しています。使用前に確認はしますが、まれにアレルギー反応が出る場合があるので、自覚症状がある人は申し出てください。なお、内服薬は置いていませんので、必要のある人は各自で用意して下さい。

【カウンセリングスペース】

保健室・カウンセリングスペース、及び事務机周辺での食事はご遠慮ください。

* 後期は 10 月 20 日（月）より開室します。

* 担当者と開室時間

月曜日：石井邦也さん 13：30 ~ 16：30

水曜日：浅野献一さん 13：30 ~ 16：30

金曜日：道嶋公子さん 13：30 ~ 16：30

* 保護者の方もご利用できます。

カウンセリングルームについてのお問い合わせ、ご予約は保健室（後藤）まで。

< 保健室・カウンセリングスペース便り >

< 今回は、保健室とカウンセリングに関わる方々に、前期終了にあたってコメントを頂きました。 >

「可憐さ」と「凛々(りり)しさ」2008.9

月曜日担当 石井 邦也

夏が来ると、山に向かいたくくなります。そのための練習をし、準備をし、テントや食料をザックに詰め込み出かけます。今年は、北アルプスの北穂高に立つことが出来ました。

天候に恵まれ見晴らしはとても良く、足元から続く稜線の先に次のピーク槍ヶ岳の切り立った姿がはっきりと目に留まりました。

山に入ると、一步一步自分の足を動かす事でしか前に進めません。重い荷物を背負っての、そんな単順な動きを繰り返すことで目標とする場所に到着できます。急な登りにさしかかると、背負った荷物が一層重く肩にかかり、体力の消耗も激しくなります。時にはザックをおろし、「おやつ」を食べ、水分を取り休憩します。そしてまた歩き始めます。

高さが 2300m 位になると大きな樹木は育つ事が出来なくなり、森林を楽しむ事はできなくなります。そしてハイマツの世界に変わり、岩の道を進むこととなります。そんな時に思いもかけず、岩陰に咲いている花を目にする事があります。根を張るための土は少ししかありません。また冬場には雪や氷で覆われるのでしょうか。仲間も少なく、背丈も低いのですが、花の色は鮮や

かです。澄み切った青空を背にし、その赤や紫の小さな花びらは、太陽の光に向かってスッキリと背を伸ばし、光を受けている感じです。そんな花が、人の目に留まることはどれ位あるのだろうか？ その美しさは一体誰のためなのだろうか？ 可憐な小さな花の美しさを前にし、何度か足を止めてしまいました。

「お前なんか死んでしまえ！」。この前期の期間に、カウンセリングスペースで耳にした言葉です。そんな厳しい言葉を浴びせられ、心を痛め傷付いた生徒さんが涙しながら語ってくれた言葉です。高い山の小さな花を眺めながら、その事を思い出しました。誰からも見つめられず、見守られず、誰からも認められていないように感じる事があって、想像も出来ない厳しい環境にあっても、ひとり一人には花があって、精一杯光を求め、その花を咲かせることを求めても良いのではないのだろうか。凜(りん)として咲く花の美しさに心を強く打たれました。ひとり一人、生きてて良いんだよ。今のあなたそのまま良いんだよ、そう呼びかけられているような気持ちにもなりました。

「野の花・空の鳥」。いつ炉に投げ入れられるか分からないそんな野の草でさえ、神様はその命をいとおしく見守っておられる。聖書の言葉(マタイ6章26)です。今ここで、生きることを共にしながら、それぞれの花を大切にしたい。改めてその言葉を思い浮かべ、噛みしめ味わっています。

垣間見る“新しさ”～カウンセリング雑感：2008 前期～

水曜日担当 浅野 献一

YMCA 学院高等学校に関わりを持ち始めて、6年目。

その6年目にして、初めてみる新しい世界があった。今まで知っているつもりでいたY高の違った表情が、そこにあった。保健室&カウンセリングスペース

保健室の扉を開けると、大抵、数名の生徒さんが、しゃべっていたり、まったりしていたりする。暗めで人もマバラな廊下とは、一転、何やら“楽しそうだ”。カウンセリングスペースは、ここだけ時間の流れが遅く過ぎゆく林のようなスガシガシささえ感じられる。

驚いた。Y高のいつもと違う顔が、ここにあることの発見。カウンセリングスペースの小窓から垣間見える“新しさ”は、この学校自体の“新しさ”にも通じることを感じた。

それぞれ一人ひとりの顔が、その趣きが違うように、その一人ひとりが生きていく喜びや悲しみ、困難さ、シンドさも様々に違う。カウンセリングスペースにひととき身を寄せる意味も目的もまた違う…。日々の戸惑いを溜息のように、そっと出していく人、一見明るく振舞っていても悩みの淵で道を見出そうとしている人。暗いトンネルをもうすぐ抜けそうな時を分かち合いたい人など…。しかし、そのような在り方の違いがあるにもかかわらず、この扉を開き入ってくる人は、生きづらさ、シンドさを自分の成長の糧としていっている。言葉をかえれば、新しい自分へ出会いの扉を開いている。今のシンドさやつまづき、トマドいの思いが、むしろ変容し、人間として大きく育っていく。その様は、とてもスリリングで、ダイナミックな冒険に同行するような感覚がする。そのことは、実は、生徒、保護者の別もない。

まだ見ぬ自分と出会う“新しさ”への出発の場。カウンセリングスペース 木漏れ日の光さしこむ、その林が、その旅への同伴者(カウンセラー)と共に、そこにあります。

この夏気付いたこと

金曜日担当 道嶋 公子

10代20代の頃の自分を振り返った時、なんであんなに人にしがみついていたんだろうってしみじみ思う。たくさんの友達に囲まれてわいわいしている私じゃなければならぬって、脅迫的に思っていた。

だから当然人から好かれるように明るく元気に振舞っていた。当時は振舞っていることにさえ気付かなかった。きっと明るくない部分を私自身が一番嫌っていたから気付きたくなかったんだと思う。

そんな私に最近こんな出来事があった。占い好きの友人と遊ぶ約束をした。ところがその日は、その子曰く「ケンカがおこる日」らしい。私自身はそれ程占いを信じるタイプではないのだがそう言われるとやっぱり気になる。「どうする？」といった後、沈黙が続いた。しかしその後言った台詞が2人とも「ケンカしてもいいかぁ～。また、仲直りするやろう」だった。

こんな感覚、昔の私にはありえなかった。仲良しの友達とケンカするとその子とは一生友達にもどれない、一人ぼっちで過ごしてしまったら一生一人ぼっち。それぐらい極端に人との関係を考えていたから、今ある状況をキープすることに必死になっていた。

人って変わるんだって、この夏つくづく思った。

人にしがみつかなくなった分ものすごく自由になった。自分の気持に正直になった。

何もかもが HAPPY になったわけじゃないけど、寂しそうな私も私だと思えるようになった。

この文章を読んでいるあなたは、この夏どんな体験をしたんだろう。

これからどんな体験をしていくんだろう。きっと新しい自分に出会っていくはず…。

“非日常”の体験から～王子様とキツネが教えてくれたもの～ 保健室担当 後藤 さやか

前期の保健室は、昨年度前期よりも利用者が多く、賑やかでした。怪我をして利用した人は昨年度前期と同じくらいでしたが、体調が悪くなって利用した人は少なかったです。本校の保健室は笑いあり、怒りあり、涙あり、雑談中心に色々な話が交差する場所です。でも、少し賑やか過ぎたのかもしれない…m(_ _)m

今年の夏、皆さんはどんな体験をしたのでしょうか。私の夏は、ほぼ毎年近場で過ごしています。今年の夏の移動範囲は兵庫県と京都府、あとは大阪にずっと居ました。その中から、二つの体験を書きます。

一つ目は野外ライブです、初めて参加しました。太陽と紫外線が苦手、日焼け嫌い、人が多いのも不得意という、およそ野外ライブには向かない私ですが、ずっと行きたいと思っていたライブの10周年記念、偶然行けることになったので、こんなチャンスはないと思って参加しました。場所は泉大津、知っている人もいるでしょう、「オーガスタキャンプ」です。姉の友人達と行き、時々テントの陰で休みつつ、年齢に合わせた(?)楽しみ方でしたが、大好きなアーティストさん達と踊って唄って、ちょっとだけ日に焼けて、大満足で帰ってきました。我ながら、ちょっと別人みたいに見えたと思います。

もう一つは六甲での宿泊研修会、数年続けて参加している勉強会です。基本はカウンセリングの勉強ですが、話を聴く心構えの再確認というところでしょうか。体調で数日前から喘息が出てしまい、体調が万全ではなかったのですが、それすらも意味があったのかもしれないと思えたほど良いものとなりました。一人の人間の中には複数のもの(性質、感情、時には人格も!?)が混在していて、ある程度バランスをとって生活していますが、久しぶりに意識した自分の性格の一部に出会えた気がしました。この研修によって後期からの皆さんへの対応が劇的に変わる…ことはないと思いますが、「見えないものに気持ちをかけること」の大切さを改めて感じました。私の大好きな絵本「星の王子様」の中で、王子様とキツネが話していることみたい(解らない人は一読を勧めます)ですね。後期も皆さんが健康に過ごせますように。皆さんの色々な体験が聴けるのを楽しみにしています。

Let's Try!!

保健環境担当 加志 勉

先日「中学時代の3年と違って高校の3年ってあっとゆう間や!」と言う生徒がいました。来年3月の卒業が見えてきた時でした。「何で?」と聞くと・・・「中学時代は家にずっといたから長かったけど、高校は学校に来てたからかな～!」なるほど!何もすることがないと時間というのは長く感じるけど、やることがあって充実した毎日を送っていると短く感じるものなのかなと改めて感じました。確かに、普段の生活の中でも夢中でしてたりするとつい時間を忘れることがあるけど、何もすることが無い時は時間がなかなかたたないことがあると思います。皆さんは今何か充実してることや、夢中になっていること、何か目標がありますか?一度考えてみてください。きっと何かがあるはずですよ。

ちなみに私の目標は、「人生の中で一度は42.195Kmを走りきりたい」と思っています。来年の3月にチャレンジする予定です。夏は暑かったけど最近涼しくなってきたのでそろそろトレーニングに入ろうと計画しています。チャレンジできた時には報告したいと思います。

Enjoy My Life

保健環境担当 谷口 佳江

私は、うまくいかないことがあって状況を変えたいとき、「何が足りないのだろう？」とばかり考えてしまいます。それで、「あれをやらなくちゃ」「これをやらねば」と考えていくことになりますが、考えても考えても、うまくいかない…!!!

どうしてうまくいかないのでしょうか？それは、「やらなくちゃ」という思いは「誰かにやらされている。つまり、自分の意思ではない。」からです。本当はやりたくないのでしょうか。しかし、私はこのことになかなか気づかず、なぜうまくいかないのかとずっと悩んでいました。でも、私は相談することによって、まず自分の意思に気づかされました。

自分の意思がわかれば、次はそこからどうするか？です。やらなければならないことがあるとき、どうせなら、“楽”な気持ちで取り組みたいものです。やりたくないと思えば、苦しいです。でも、同じことをするなら、苦しい思いでするよりも楽な思いでするほうがいいですね。“楽”というのはさぼることではありません。“楽しむ”気持ちで取り組むということです!!!

そして、ひとつのことをやり遂げたときに「よし！終わった！」と自分を褒めたいものです。できることなら「やらなきゃ」を「やりたい」に言い換える方法を見つけたいです。そのためには、何かを足すことばかりではなくて、何かを捨てることも大切だと思います。すると、空いた場所に新しい何かが入ってきます。全ては自分の意思によるものです。自分の人生は自分の意思で作りに上げていくものだから、どんなことでも“楽しむ”人になりたいです!!!

生徒支援からのお知らせ

前記の期末テストも終わり、前期最後のホームルームや後期の講座登録が始まります。また、3年次生のみなさんは進路相談などで学校にくる機会も多くなると思います。

以前の学校通信でも何度か掲載しましたが、登校したときは校内生活上の決まりをきちんと守ってください。

【スクーリングが始まるまでの登校について】

9月22日(月)のホームルームと9月25日(木)より始まる後期の講座登録期間中以外、生徒のみなさんは学校に登校することはできません。自習室・屋上のスポーツヤードを含めて学校施設を使用することはできません。ただし、証明書発行などで事務室に用事のある人、担任と相談する必要がある人は登校することができます。担任が不在のこともあるので、事前に電話などで約束を取っておくようにしてください。同好会・クラブの活動で登校する場合は、活動計画を提出しそれに従ってください。

【スクーリングが始まったら】

以前の学校通信などで何回か掲載しましたが、生徒の皆さんの学習環境を守るため、特に守って欲しい部分を以下に掲載します。

自動車・バイク（原付を含む）での通学はできません。

各自の持ち物（特に貴重品）は自分の責任で管理してください。

学校内および学校周辺はすべて禁煙です。

学校として空いている時間（開校時間）は、休日を除く月～金の9：00から17：00です。

開校時間以外は、フリースペースを含め学校施設は利用できません。

また、スクーリング（授業）中の私語などの迷惑行為、学校校舎内（玄関前を含む）および近隣周辺において、場所をわきまえない行動をすることがないように、良識と節度を持った行いをするようこころがけてください。

【大阪府定時制通信制生徒秋季発表大会のお知らせ】

毎年秋に生活体験・芸術作品・芸能成果の発表会が開かれます。大阪府下の多くの生徒が参加するいい機会です。本校生徒への作品も出品されていますので、興味のある方は見に行ってください。

発表日時 10月12日（日）
会場 大阪府教育センター（地下鉄御堂筋線あびこ駅付近）

生活体験発表の部

定時制・通信制高等学校に学ぶ生徒が学校生活を通して、感じ、学んだ貴重な体験を発表するものです。発表時間は一人7分以内で、優秀者は表彰されるとともに、全国大会へ出場する機会が与えられます。

作品発表の部

美術（水彩画、油絵、日本画、版画、デザイン、彫塑・立体）書道（漢字、仮名、小字数、漢字仮名交じり、てん刻）、工芸（平面、立体）写真（カラーまたは白黒）の各部門があります。会場の大ホールに展示され、優秀作品は表彰されます。

芸能発表

音楽、演劇の部があり、発表時間は音楽が15分程度、演劇は20分程度です。優秀な発表に対しては表彰されます。

進路支援からのお知らせ

* 卒業年次進学希望者を対象に進研記述模擬試験を下記のとおり実施します。卒業年次生は、『進学アシストプログラム』の登録の有無にかかわらず受験できます。大学・短大等の受験を予定している生徒は、模擬試験が今後の受験校選びの資料となります(模擬試験等のデータがなければ受験校選びが困難になります)ので、積極的に受験してください。受験希望者は、申込書に受験料を添えて、下記申込期限までに事務室受付で申し込んでください。

記

<実施日> 10月9日(木)

<時間割> 大学・短大等入試に必要な科目を時間割にあわせて受験すること。

(記述模試ですので、受験教科は最大で、文系 英語・国語・地歴公民・数学、理系 英語・数学・理科です。理系で国語が必要な場合は申し出てください。)

文 系		理 系	
英 語	10:30~12:10(100分)	英 語	10:30~12:10(100分)
登 録	12:10~12:30(20分)	登 録	12:10~12:30(20分)
国 語	13:10~14:50(100分)	数 学	A B 13:10~14:50(100分)
地歴公民	15:00~16:00(60分)		A B C 13:10~15:10(120分)
数 学	15:00~16:40(100分)	理 科	1科目め 15:20~16:20(60分)
数 学	16:10~17:50(100分)		2科目め 16:30~17:30(60分)

<試験会場> YMC A 学院高等学校(教室は当日掲示します)

<受験料> 3,000円

<申込期限> 9月26日(金)

* 9月1日より『大学入試センター試験』の願書(受験案内)を配布しています。受験希望者は、10月3日(金)までに担任の先生または進路支援部担当者に願書を提出してください。願書は、高校で取りまとめします。生徒個人での出願はできません(前期卒業生を除く)。

なお、9月22日(月)12:25~12:40に出願についてのガイダンスを実施しますので、出願希望者は出席してください。

【指定校推薦等の推薦入試を受験される方へ】

* 2009年度指定校推薦入学試験等について、学校通信等で以前より案内していますが、大学・短大・専門学校の最新の一覧は、3階進路コーナーに掲示しています。必要な生徒は、随時確認してください。なお、受験希望者は、早めに(受験登録締切は出願締切日の2週間前)、各担任まで申し出てください。

* 本校が推薦状を発行する場合の条件

- ・前期末(9月末)で54単位以上修得していること
- ・指定校推薦入試に関しては、60単位以上の修得が必要
- ・また指定校推薦入試は、保護者同伴で担任との事前面接が必要となります。

* 推薦入試等出願にともない『調査書』・『推薦書』等が必要な場合は、早めに申し出てください。担任と相談し、受験校(学科・コース等)を決定した上で、手数料および指定の用紙(有る場合)を添えて発行申込をしてください。受験校が決まっていない場合、発行はできません。発行の流れは、以下のとおりです。

なお、発行日は、受付から1週間後です。

担任に相談 受験校の決定 発行願用紙受取・記入 担任確認 事務室受付にて
申込 (1週間後)発行

アシストプログラムのお知らせ

* 先月の学校通信でも案内しましたが、後期スクーリングスタートに伴い、『学習アシスト・ルーム』など、様々な『アシストプログラム』が開室・開講されます。各プログラムとも、後期からも申し込むことができますので、積極的に登録申請してください。なお、『進学アシストプログラム』は、スクーリング開始前、10月中旬より始まりますので、早めに申し込んでください(ファックス可)。また、『学習アシスト・ルーム』については、前期登録者もあらためて申し込んでください。

- ・学習アシスト・ルーム：レポート作成のための学習支援を行います。
- ・進学アシストプログラム：3年次対象。進学ガイダンス・個人面談等を通じて、進学・受験の支援を行います。



今月の聖句



「こうして天と地と、その万象とが完成した。
神は第七日にその作業を終えられた。
すなわち、そのすべての作業を終って
第七日に休まれた。」

(創世記 2章1・2節(口訳))

疲れていませんか？

だるくなっていませんか？ 身体も、ココロも。

人は“生きる”ことに、休みはありません。

人間も当然、動物ですから常に動いて生きている。眠っていて身体は動いていなくとも、内臓も動いて、それぞれの機能の役割を果たし、脳すらも働き、夢をみます。

そして生きるために、それぞれの働き場（学生は勉強を）で、今を生きています。生活するために、お金を稼いで、食べています（生活やお金のためではなく、自分がしたいからそのように働いている 自己実現のため という人もいるでしょう）

そのような中で“暮らし”を営んでいるわたしたちですが、その中でとても大切にしなければならないことは、実は、心からリラックスした「休息・お休み」です。

休むことによって、単に肉体的・精神的な疲れが無くなるということ以上に 休みは、生きていくリズム（緩急）を生み、暮らしの張りや人生の喜びを生み出します。音楽の命が、そのリズムにあるように。

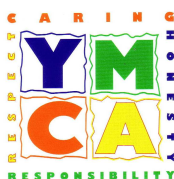
また、休息には、人生をより深め（深化させ）る力があります。ワインが年月を重ね、寝かせれば寝かせるほどに味が深められるように。人の生きざまも発酵し、かぐわしい薫りをきわだたせます。

のびやかに休むということは、“うまみ”を凝縮していく創造的（クリエイティブ）な行為です。北海道の「鮭の山漬け」は、シャケさばいて、塩に漬け込み、寝かせること（ひきこもり！：浦河「べてるの家」では、『ひきこもり鮭』と命名して売っています）によって新たに“美味しく”熟成していきます。

“生きる”ことに、休みはありませんが、より豊かに、人生を深め、世界に一人しかいない自分の人生を生きるために。そして、忙しく、何事も“早く正確に”と求められている今の時代だからこそ、むしろ大胆にクリエイティブな「休み」こそが大切なのではないのでしょうか（“ひきこもり”も人生の熟成期間でしょう）

「神は第七日にその作業を終えられた。すなわち、そのすべての作業を終って第七日に休まれた。」

(日本キリスト教団 大阪大道教会 浅野 献一牧師より)



南YMCA「キリスト教」委員会2008